

Y-PORTワークショップおよびアジアスマートシティ会議等 開催スケジュール

開催回	開催日	開催時刻	アジアスマートシティ会議における位置づけ	テーマ	登壇予定者	実施内容	開催方式
第1回	2021年 9月2日 (木)	15:00 ~16:30	プレワークショップ	デジタルを活用した海外 へのスマート技術・ソ リューションのプロモ ーション	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市国際局 PwC 	<ul style="list-style-type: none"> セミナー パネルディスカッション 	<ul style="list-style-type: none"> ウェビナー
第2回	2021年 9月16日 (木)	15:00 ~17:00	プレワークショップ	都市間連携を通じた脱炭 素ビジネス形成について ~タイ・バンコク都との 都市間連携を事例にして ~	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市温暖化対策統 括本部 JICA専門家 一般社団法人海外環 境協力センター 株式会社ファイ テック 	<ul style="list-style-type: none"> セミナー パネルディスカッション 	<ul style="list-style-type: none"> ウェビナー
第3回	2021年 10月14日 (木)	15:00 ~16:30	プレワークショップ	バーチャルコンテンツ (3D都市モデル) を活 用したプロモーション	<ul style="list-style-type: none"> 調整中 	<ul style="list-style-type: none"> セミナー パネルディスカッション 	<ul style="list-style-type: none"> ウェビナー
第4回	2021年 10月26日 (火)~ 28日(木)	13:00~ 16:30	アジアスマートシ ティ会議 メインイベントウェ ビナー	企業のソリューション ピッチ	<ul style="list-style-type: none"> 調整中 	<ul style="list-style-type: none"> 企業ピッチ ネットワー クイベント 	<ul style="list-style-type: none"> ウェビ ナー バーチャ ルプラッ トフォー ム
第5回	2022年 1月中旬	13:00~ 16:30	アジアスマートシ ティ会議 フォローアップウェ ビナー	検討中	<ul style="list-style-type: none"> 調整中 	<ul style="list-style-type: none"> 企業ピッチ 	<ul style="list-style-type: none"> ウェビ ナー

第36回Y-PORTワークショップ

デジタルを活用した海外へのスマート技術・ソリューションの プロモーション

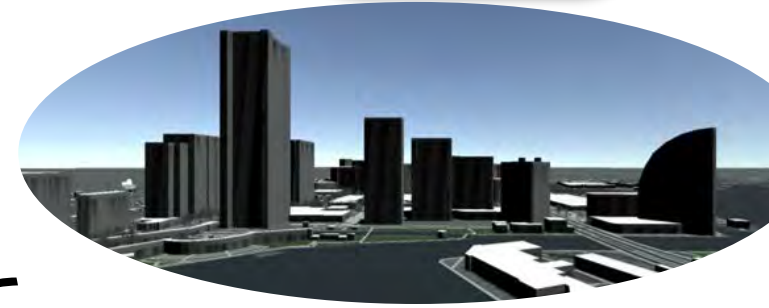


開始時刻	所要時間	テーマ	内容	登壇者
15:00	10分	イントロダクション	本年度のY-PORTワークショップの全体像・目的	横浜市国際局 国際協力課担当課長 中村恭揚
15:10	15分	プレゼンテーション①	第10回アジアスマートシティ会議の開催概要	横浜市国際局 国際協力課担当課長 中村恭揚
15:25	20分	プレゼンテーション②	アジアスマートシティ会議ネットワークイベント（バーチャル展示会）の概要	PwCアドバイザリー合同会社 シニア・アソシエイト 五月女晋也
15:45	20分	質疑	ネットワークイベントに関する参加者からの質問受付・回答	—
16:05	10分	プレゼンテーション③	横浜市臨海都心部の3D都市モデル作成計画の概要	PwCアドバイザリー合同会社 マネージャー 藪内善久
16:15	10分	質疑	3D都市モデルに関する参加者からの質問受付・回答	—
16:25	5分	クロージング・ラップアップ	本日のまとめ	横浜市国際局



GALERIO

横浜国際協力センター6階



デジタル技術を活用した
海外市場へのプロモーション
について

令和3年9月2日
横浜市国際局国際協力課

Y-PORT事業の背景・目的

横浜の強み

都市づくりの経験を有する横浜市

Resources



環境関連技術を有する市内企業

Technologies



Y-PORT
Yokohama Partnership of Resources and Technologies

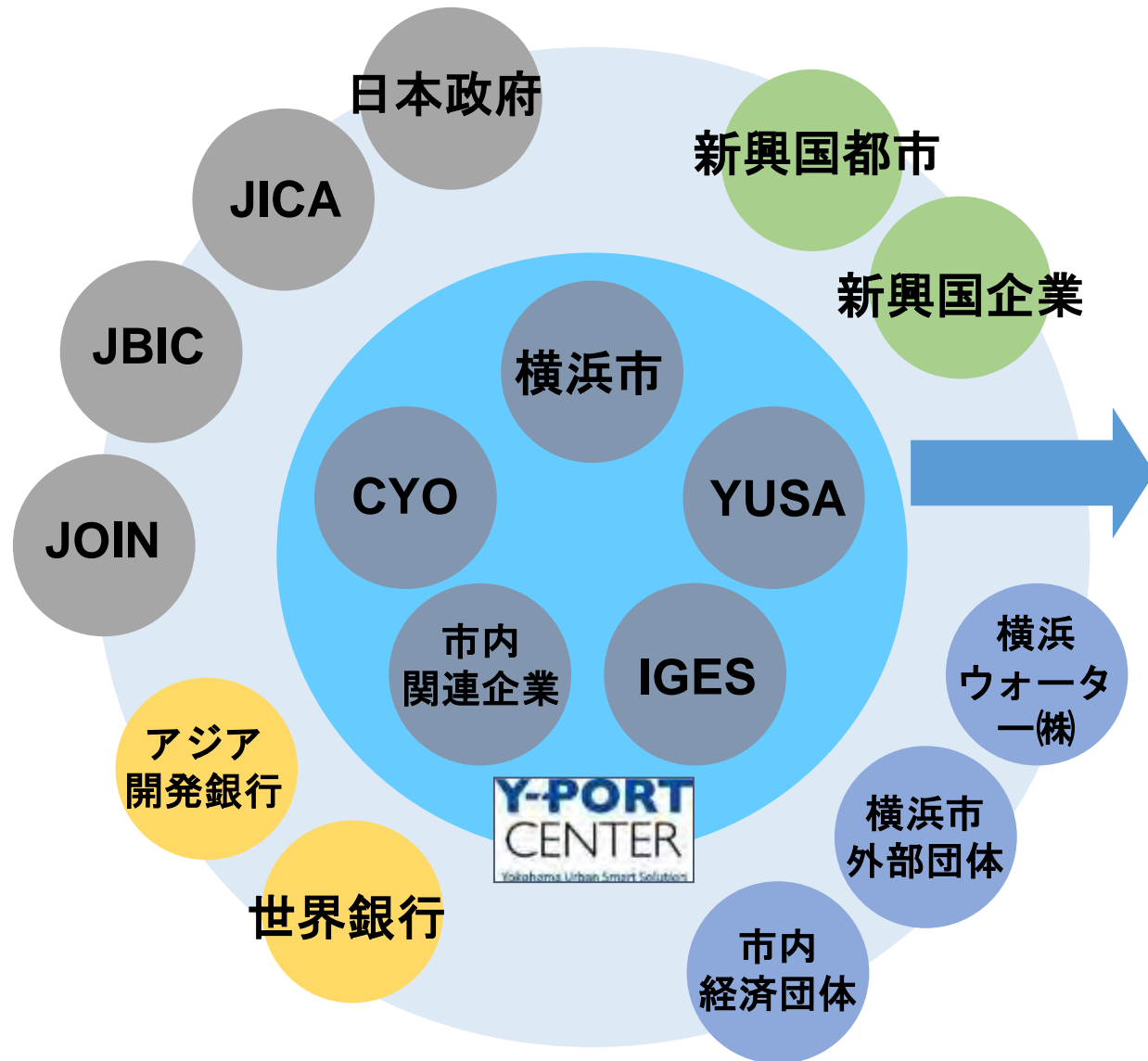
2011年 **Y-PORT事業**を開始
(横浜の資源・技術を活かした
公民連携による国際技術協力)

目的

横浜市内経済の活性化
(市内企業が海外で受注)

新興国の都市課題解決
(人口急増に対応)

Y-PORTセンター～事業推進のプラットフォーム～



横浜市
国際局国際協力課



YUSA
(一社) YOKOHAMA
URBAN SOLUTION
ALLIANCE



Y-PORTセンター公民連携オフィス

Y-PORT事業が目指すインフラビジネス展開のサイクル

横浜モデルの発信
都市づくりのナレッジハブの形成



アジア・スマート
シティ会議

公民連携オフィス



Y-PORTワークショップ/
市内企業との連携

都市間協力/
ビジネスマッチング

上流計画の策
定支援(現地
ニーズ・優先
事業の把握)



都市開発フォーラム/
ビジネスマッチング

技術の導入可能性調査
現地からの受注へ



ベストプラクティスの蓄積および横展開

Y-PORT事業の主な活動エリア

「持続可能な都市の発展に向けた技術協力に関する覚書」を締結した都市

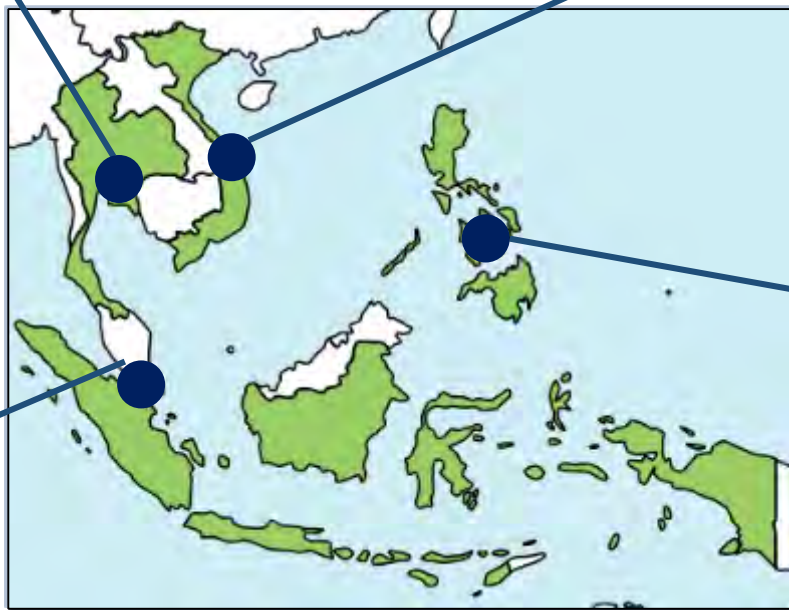
バンコク



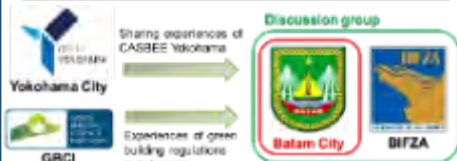
- ▶ バンコク都気候変動マスタープラン
- ▶ 工場屋上を利用した太陽光発電・エネルギーマネジメントシステム導入

ダナン

- ▶ ダナン都市開発アクションプラン
- ▶ ホテル・工場等の省エネ診断サービス
- ▶ ダナン市水道公社への高効率ポンプ導入



Batam



- ▶ Green Building制度の構築支援

セブ



- ▶ メガセブロードマップ 2050
- ▶ 廃プラスチックリサイクル
- ▶ 腐敗層汚泥の高効率処理

(一社)YUSAとの連携によるスマートシティ事業

- ・ タイ国東部経済開発地域(EEC) チョンブリ
- ・ ベトナム ハロン及びロンタン
- ・ ラオス北部
- ・ ミャンマーヤンゴン郊外



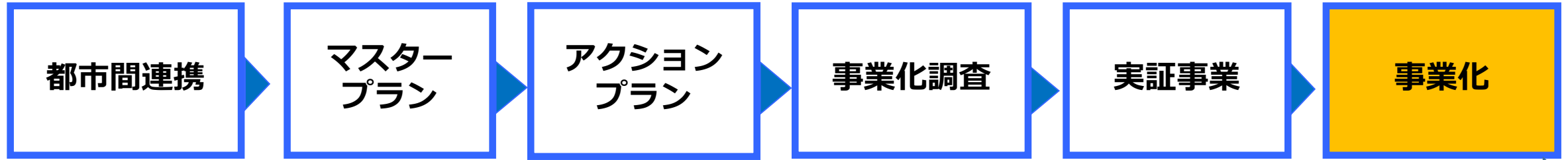
フィリピン中規模都市・民間開発

比国観光省との連携による下水対策等

スバ (フィジー) / ウランバートル (モンゴル)

ADB等との連携(廃棄物、防災、下水等)

インフラビジネス展開の枠組み (上流計画から事業化までの一貫した取り組み)



技術協力(案件発掘)から事業化までを「ダナン都市開発フォーラム」等を通じて実施促進



ダナン都市開発フォーラム

省エネ診断サービス実証事業
(市内中小企業(株)オオスミ)

浄水場のポンプ更新事業
(二国間クレジット制度)

JICAと連携して策定支援したダナン市の
将来都市構造図と事業アクションプラン

Y-PORT事業における事業化事例

2020年度末時点

 <p>中小企業</p> <p>12 つくば未来づくり推進 13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>① 廃プラスチックのリサイクル事業(フィリピン・メトロセブ) (株)グーン(金沢区)</p>	 <p>中小企業</p> <p>6 安全な水とトイレを世界中に 13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>② 水道公社への高効率ポンプの導入(ベトナム・ダナン) 横浜ウォーター(株)(中区)</p>	 <p>中小企業</p> <p>6 安全な水とトイレを世界中に 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>③ 下水処理場への汚泥脱水装置の納入(フィリピン・バギオ) アムコン(株)(港北区)</p>	 <p>中小企業</p> <p>7 気候変動に具体的な対策を 13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>④ 工場への屋根置き太陽光発電及び先進的エネルギー管理システムによる電力供給(タイ・バンコク) (株)ファインテック(緑区)</p>
 <p>中小企業</p> <p>6 安全な水とトイレを世界中に 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>⑤ 上下水道公社への漏水検知研修事業(インド・バンガロール) 水道テクニカルサービス(株)(旭区)</p>	 <p>YUSA</p> <p>9 産業、科学、技術イノベーションを推進しよう 7 気候変動に具体的な対策を 11 気候変動に具体的な対策を 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>⑥ 工業団地のスマートシティ化支援コンサルティング業務(タイ・チョンブリ、アマタ社) (一社)YUSA(中区)</p>	 <p>YUSA</p> <p>9 産業、科学、技術イノベーションを推進しよう 7 気候変動に具体的な対策を 11 気候変動に具体的な対策を 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>⑦ スマート工業団地開発計画支援コンサルティング事業(タイ・チャチュンサオ、シティ社) (一社)YUSA(中区)</p>	 <p>大企業</p> <p>6 安全な水とトイレを世界中に 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>⑧ インサ下水処理場建設事業(ベトナム・ハノイ) JFEエンジニアリング(株)(鶴見区)</p>
 <p>中小企業</p> <p>6 安全な水とトイレを世界中に 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>⑨ ホテルへの水道管改善装置の納入(モンゴル・ザミンウッド) 都市拡業(株)(南区)</p>	 <p>中小企業</p> <p>9 産業、科学、技術イノベーションを推進しよう 13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>⑩ 民間工場等への省エネ・ワンストップサービス業務(ベトナム・ダナン)(株)オオスミ(瀬谷区)</p>	 <p>YUSA</p> <p>9 産業、科学、技術イノベーションを推進しよう 7 気候変動に具体的な対策を 11 気候変動に具体的な対策を 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>⑪ タイ、ラオス、ミャンマーにおけるスマートシティ開発支援コンサルティング業務(タイ、ラオス、ミャンマー・アマタ社)(一社)YUSA(中区)</p>	 <p>YUSA</p> <p>9 産業、科学、技術イノベーションを推進しよう 7 気候変動に具体的な対策を 11 気候変動に具体的な対策を 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>⑫ ベトナムにおけるスマートシティ開発支援コンサルティング業務(ベトナム・クアンニン、アマタ社) (一社)YUSA(中区)</p>
 <p>中小企業</p> <p>6 安全な水とトイレを世界中に 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>⑬ 水道管漏水検知機器の納入(ベトナム・ホーチミン市等)水道テクニカルサービス(株)(旭区)</p>	 <p>中小企業</p> <p>6 安全な水とトイレを世界中に 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>⑭ 民間工場等への汚泥脱水装置の納入(フィリピン・メトロセブ等) アムコン(株)(港北区)</p>	 <p>中小企業</p> <p>6 安全な水とトイレを世界中に 13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>⑮ インバーター導入による取水ポンプの省エネルギー化(ベトナム・ホーチミン) 横浜ウォーター(株)(中区)</p>	 <p>YUSA</p> <p>9 産業、科学、技術イノベーションを推進しよう 7 気候変動に具体的な対策を 11 気候変動に具体的な対策を 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> <p>⑯ タイ、ラオス、ミャンマー、ベトナムにおけるスマートシティ開発支援コンサルティング業務(タイ、ラオス、ミャンマー、ベトナム・アマタ社)(一社)YUSA(中区)</p>

Y-PORTセンターの情報発信拠点への進化・高機能化

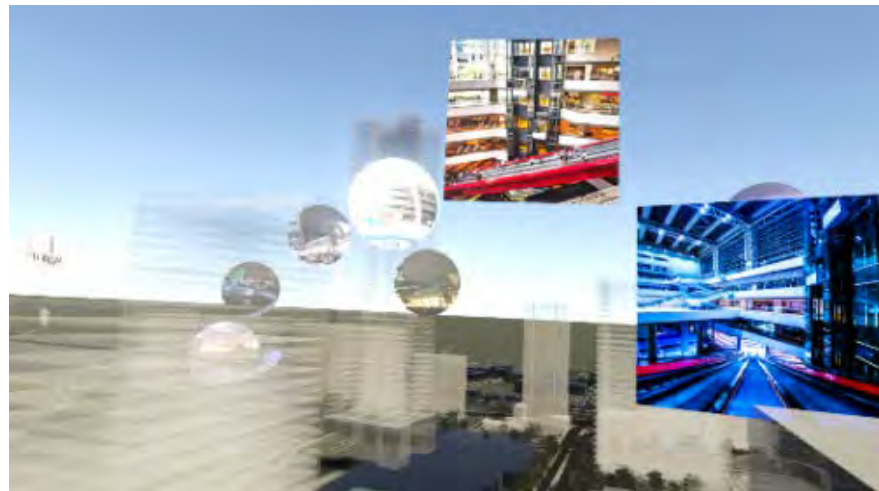


横浜国際協力
センター6階

GALERIO



海外都市や国際機関等との
オンライン会議・ワークシ
ョップスペース(約500m²)



みなとみらい21地区の3Dモデルを
活用した知見やノウハウの共有(計画)

デジタル技術を活用した海外市場へのプロモーション

- アジア・スマートシティ会議での
企業技術ピッチおよびバーチャル展示会
への参加

昨年度の開催実績

初めてオンラインと実開催によるハイブリッド形式で開催

ウェブミーティング等オンライン上でのビジネス機会の創出

- ◆ メインイベント：令和3年1月
- ◆ アジア開発銀行研究所、世界銀行東京開発ラーニングセンターとの共同運営
- ◆ 後援：内閣府、外務省、財務省、国土交通省、環境省、国際協力機構（JICA）、一般社団法人スマートシティ・インスティテュート(SCI-J)、地球環境戦略研究機関（IGES）、横浜市立大学、シティネット
- ◆ 参加者数：約1,250名（42か国・1地域）
- ◆ 参加機関数：約750機関（海外自治体、海外政府機関、企業、国際機関、学術機関、大使館等）



(第9回ASCCページ QRコード)



環境大臣によるビデオメッセージ

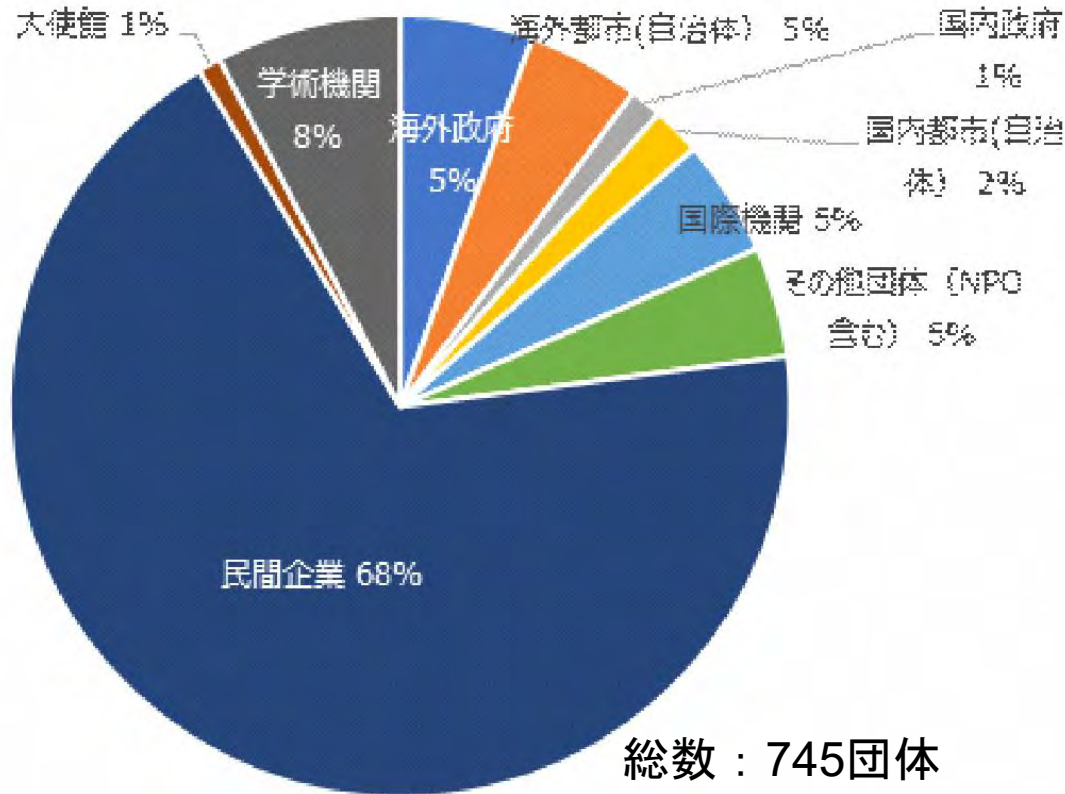


第9回アジア・スマートシティ会議の様子
(会場：インターコンチネンタルホテル)

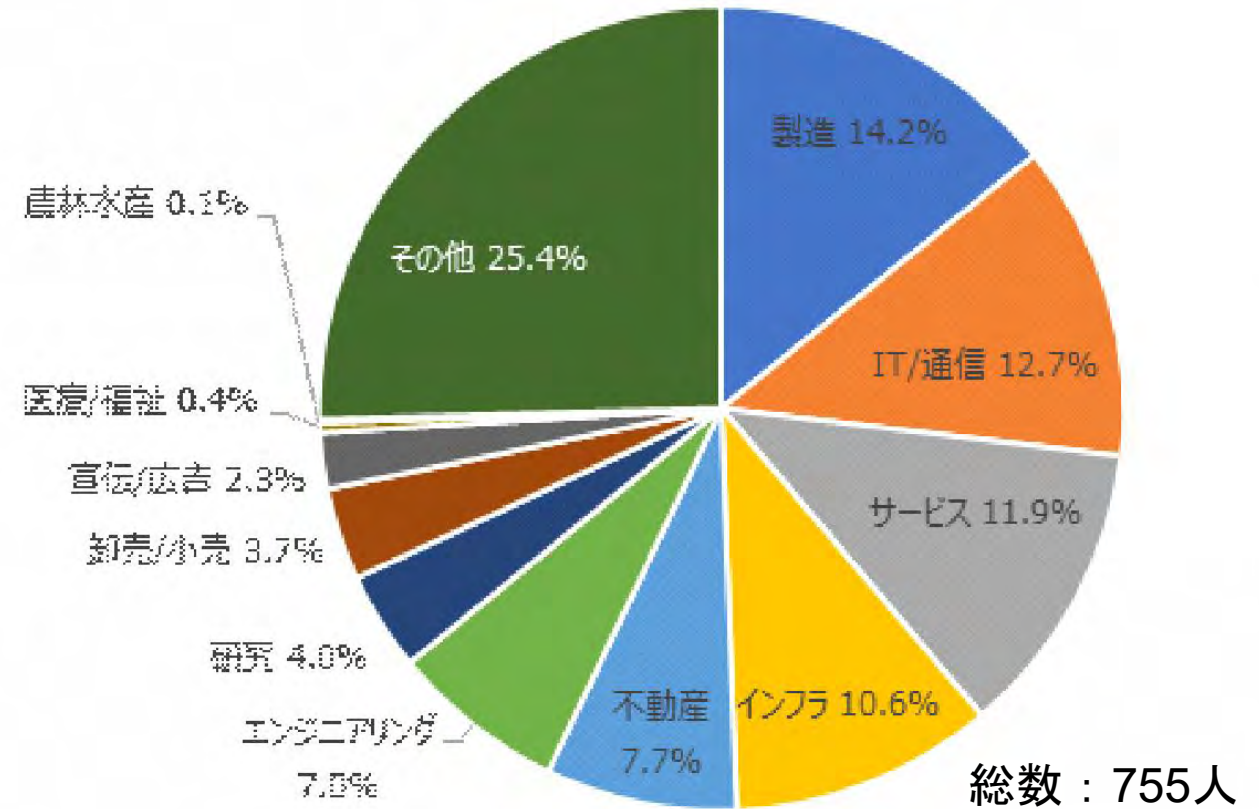
昨年度の参加機関（メインイベント）

オンライン方式の採用により、民間企業の参加団体数が大きく増加。
アジアスマートシティ会議が、BtoBのビジネスマッチングの場としての活用も有効。

参加機関（属性別）



参加機関（業種別）



令和3年度 第10回アジア・スマートシティ会議の全体構成案

国際会議・ウェビナー

メインイベント

10月26日 ウェビナー	10月27日 ウェビナー	10月28日 本会議	登壇者・セッション主催者等
市内企業等の 技術PRウェビ ナー他	協力機関等 によるウェビ ナー他	キーノート (政策・ビジョン)	横浜市 ゲストスピーカー 国際機関代表(世銀・ADB等)
		セッション	アジア開発銀行 世界銀行 横浜市温暖化対策統括本部 YUSA・市内企業 等
		クロージング	横浜市国際局他(横浜宣言)

フォローアップ

1月中旬 ウェビナー
アセアンのスマートシティ開発事例
横浜の都市づくりを活かした都市輸出に関する 提案 ・スマートシティ ・都市ソリューション

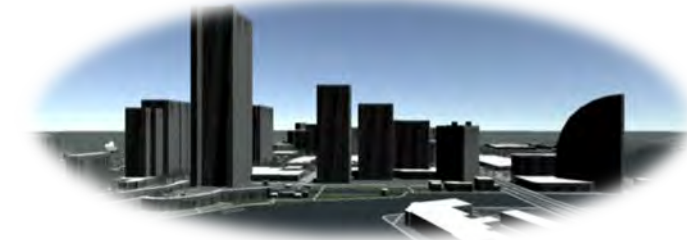
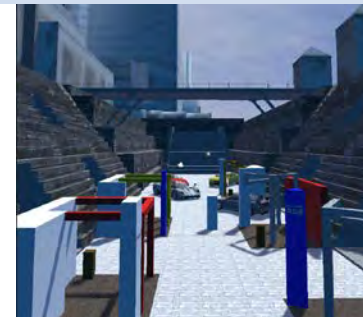


ネットワークイベント

ブース出展

バーチャルプラットフォーム上のビジネスマッチング(26日~28日の3日間)

ポスターセッション、参加者間のネットワーキング



3Dモデル (well-beingのまちづくり事例アドオン)

国内ワークショップ

プレワークショップ
(3回)

カーボンニュートラルの実現のための政策・技術

横浜の都市づくりの強み(脱炭素、公共空間、エネルギー、循環経済等の人間を中心とした住みよい街づくり)を実現しているスマートシティ技術について議論

民間企業との連携

YUSA部会、水ビジネス協議会、横浜市内のイノベーション協議会等

企業が中心となって都市ソリューションや事業モデル等を立案

第10回アジア・スマートシティ会議 概要（案）

メインテーマ： カーボンニュートラルの実現に向けた都市間連携によるスマートシティ
～コロナ時代の展望～

- ◆ 日時： **2021（令和3）年10月26日（火）～28日（木） ※28日本会議**
- ◆ 開催形式： オンライン （Y-PORTセンター公民連携オフィスGALERIOから配信）
- ◆ 参加方法： 事前登録制・参加費無料
- ◆ 主催： 横浜市
- ◆ 共同運営者： アジア開発銀行研究所（ADBI）、世界銀行東京開発ラーニングセンター（TDLC）
- ◆ 後援(調整中)： 内閣府、外務省、財務省、国土交通省、環境省、国際協力機構（JICA）、
一般社団法人スマートシティ・インスティテュート(SCI-J)、地球環境戦略研究機関（IGES）、
横浜市立大学、シティネット
- ◆ 連続開催イベント：
横浜市大等による国際アカデミックコンソーシアム(IACSC)横浜大会(10月16日予定)
アジアスマートシティ会議フォローアップイベント（2021年1月中旬予定）

第10回アジア・スマートシティ会議 イベント日程

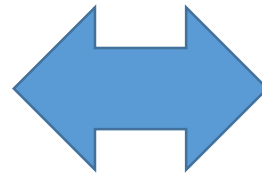


日程	イベント	
8～10月	プレワークショップ	
10月26日(火)	ビジネスマッチングウェビナー	バーチャルプラットフォームでの ネットワーキングイベント
10月27日(水)	企業提供動画や過年度ASCCセッション	
10月28日(木)	本会議	
1月中旬	フォローアップウェビナー	
3月上旬	ASCC開催報告書発行	

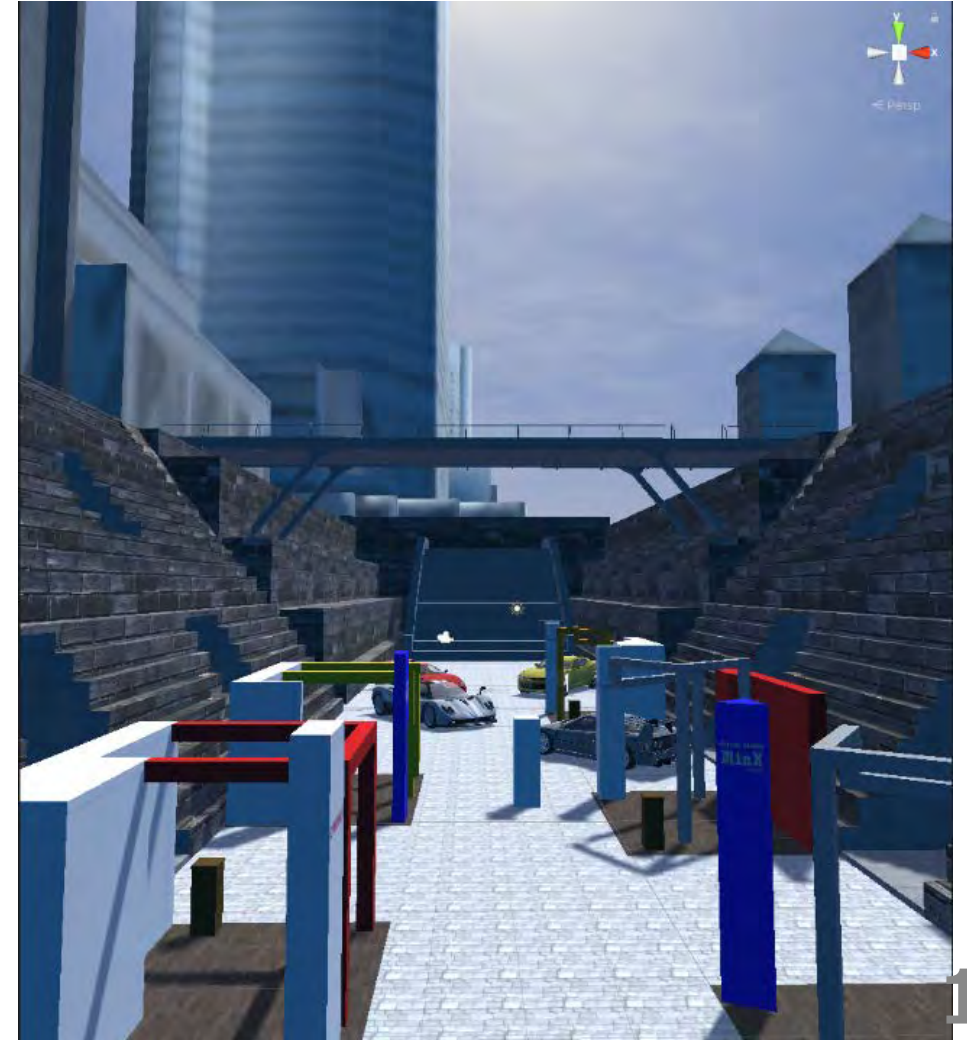
※本資料の情報は企画段階の内容を多く含みます。 今後、予告なく変更する場合があります。

ASCCウェビナーへの登壇／バーチャル展示会への出典

ウェビナー イメージ



バーチャル展示会 イメージ
(パスターセッション)



第10回アジア・スマートシティ会議 イベントスケジュール



日付	時間	チャンネル1	チャンネル2	ネットワークイベント
10月26日	PM	企業ピッチウェビナー	-	-
10月27日	PM	循環経済セッション (過年度ASCC等からのベストセレクション)	-	バーチャル展示会
10月28日	AM	イントロダクション 横浜市国際局		バーチャル展示会
		テーマ企画中 横浜市立大学、CITYNET横浜プロジェクトオフィス	スタートアップとの連携によるスマートシティ及びサステナビリティの促進 横浜市米州事務所	
		VLR(自発的自治体レビュー): 都市の変容を加速化する 地球環境戦略研究機関(IGES)	日欧アジアのスマートシティ 地域を越えた共創の実現に向けて スマートシティ・インスティテュート	
	PM	主催者挨拶・キーノートスピーチ		
		ゼロカーボン社会の実現に向けた都市間協力 横浜市国際局・温暖化対策統括本部	低炭素で強靱な社会を実現するスマートな都市ソリューション アジア開発銀行(ADB)、アジア開発銀行研究所(ADBI)	
		横浜からお届けする新しい都市開発について Yokohama Urban Solutions Alliance(YUSA)	持続可能な都市をデザインする低炭素化の取り組み 世界銀行 東京開発ラーニングセンター(TDLC)	
	クロージングセッション ~横浜宣言~			

【問合せ先】 第10回アジア・スマートシティ会議事務局
横浜市国際協力課 中村・小室・鈴木
Mail: ki-asca@city.yokohama.jp



【ご案内】 Y-PORT事業ウェブサイト／Y-PORTメーリングリスト

● Y-PORTメーリングリストに是非ご登録ください。

ビジネスマッチングやイベント情報を随時メールでご案内しています。

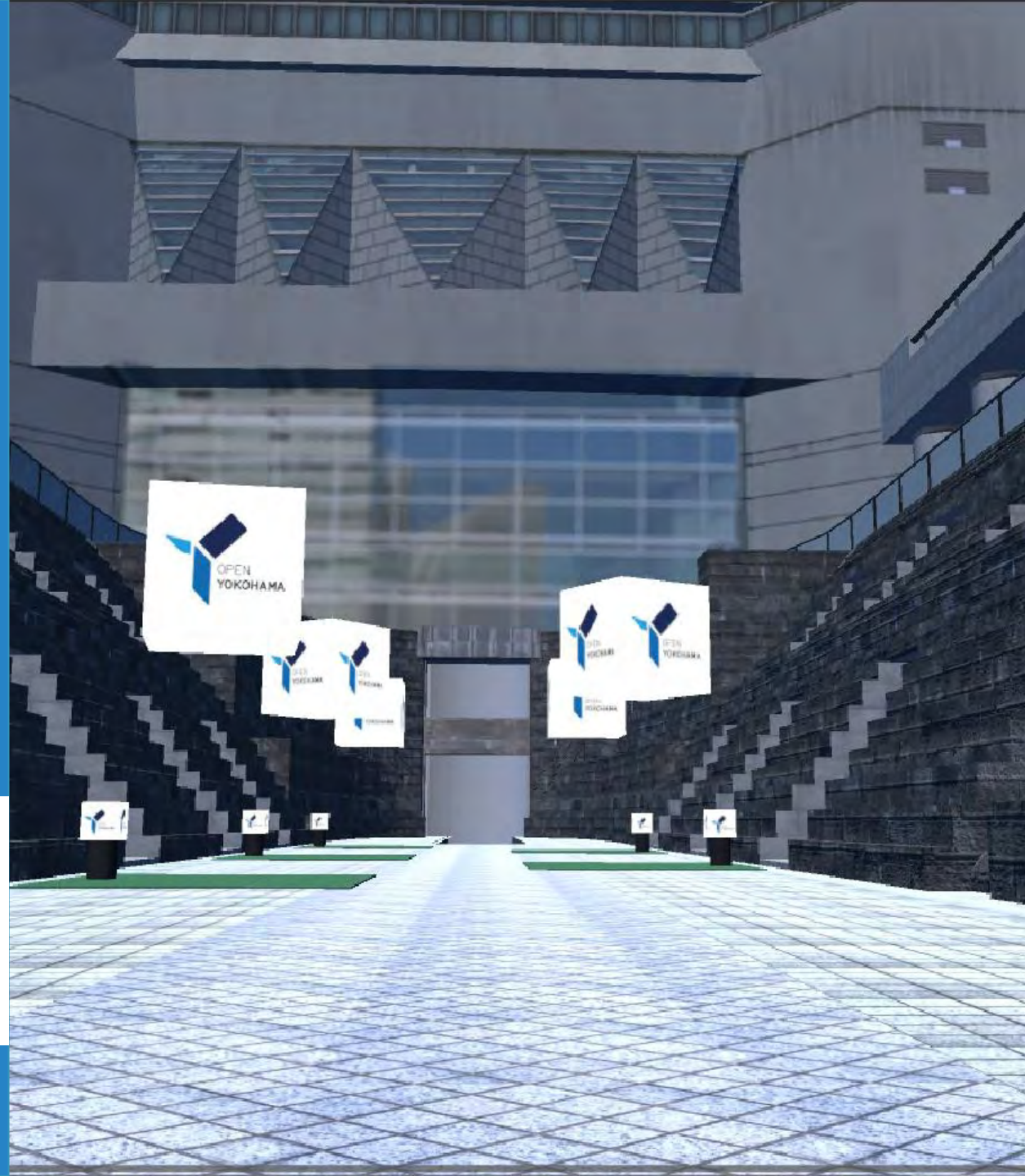


URL <https://yport.city.yokohama.lg.jp>

トップページ下段の登録ボタンから
メーリングリストにご登録ください

第10回ASCCバーチャル展示会 及び横浜市臨海都心部の 3D都市モデル作成計画

September 2021



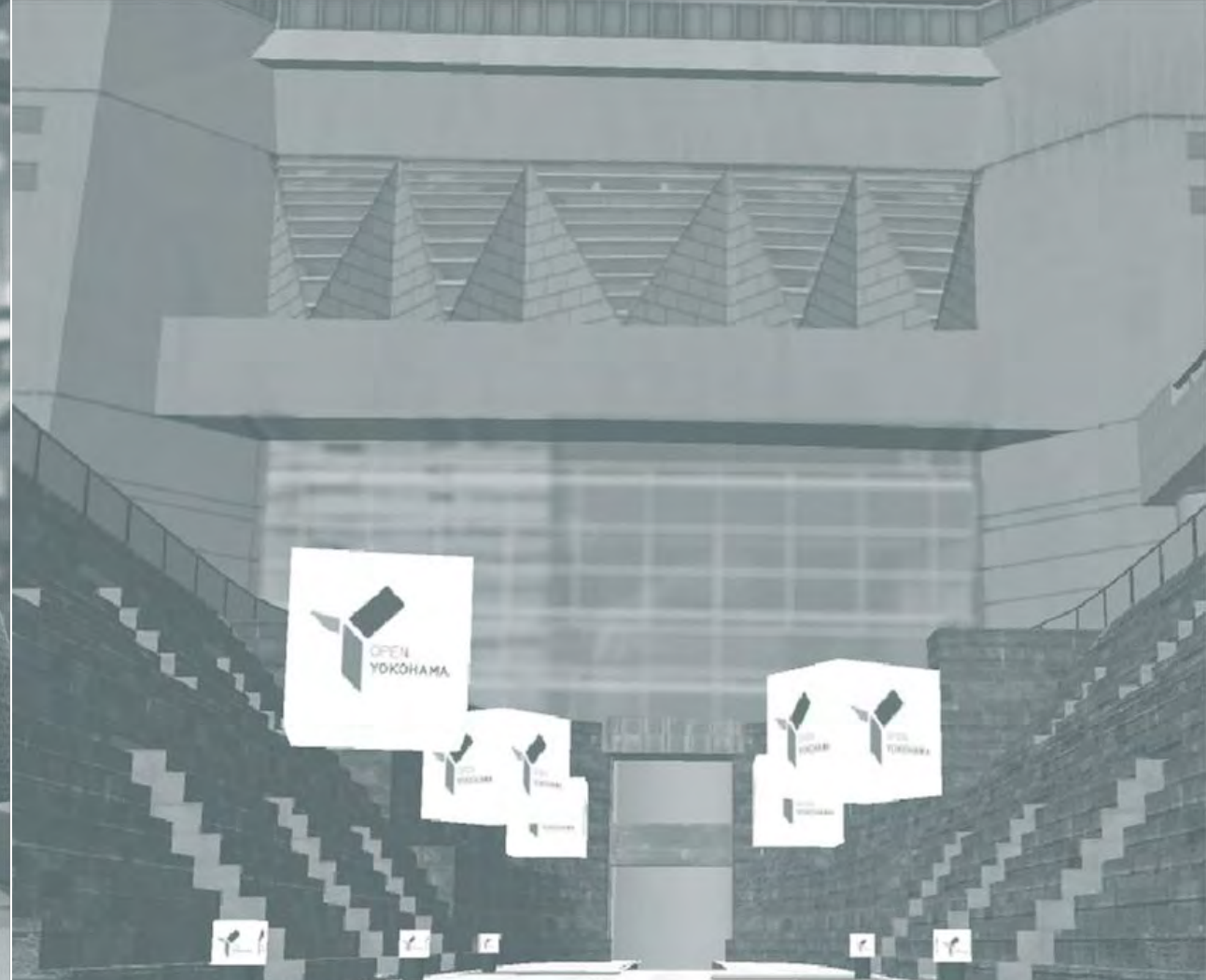


第10回ASCC
バーチャル展示会



①【企業ウェビナー】

企業によるソリューション紹介の
プレゼンテーション
(10月26日)



②【バーチャル展示会】

ウェビナー登壇企業および視聴者
(海外関係者)のマッチングセッション
(10月27日・28日)



バーチャル展示場のご紹介
(別画面に移動)

バーチャル展示会について

概要・狙い

- ✓ 第10回アジア・スマートシティ会議では、バーチャル展示会として、本会議としては初めてバーチャルリアリティを用いた参加者間の交流が可能なネットワークイベントを開催
- ✓ 様々な都市ソリューションがポスターセッション形式で提供され、国内外のスピーカー・参加者同士のコミュニケーション・マッチングの場として活用できる場

参加メリットについて

- ① アバターの活用によるリアリティの高いコミュニケーションによる営業活動
- ② 通常のオンライン面談とは異なる、多様な資料を自由に組み合わせた営業活動
- ③ 別のウェビナーによるプレゼンテーションとの組み合わせによる効果的な営業活動
- ④ 今後、VRなどのデジタルコミュニケーションツールによるビジネスコミュニケーションが活発化していくと期待される中で、高度なリテラシーを獲得することが可能

ポスターを用いたブース内でのプレゼンテーションイメージ

00 背景

人事のデータは、下準備にほとんどの時間をかけていました。

人事の業務システムから取れるデータには多くの課題があります。そのため、徹底的な可視化や分析を行うだけでも、データの価値や効果にのりたの工夫ができていました。

データ三大疾病

ばらばら

- データソース
- 運用体制
- 運用ツール

ぐちゃぐちゃ

- 無記名
- 匿名化
- マスタがない

まちまち

- 統計処理がない
- 同じ値で意味が異なる

01 実施内容

様々なデータソースから、1つのデータマートへ集約。匿名性を考慮し、横断で分析可能な環境を構築しました。

大きく3つのステップで進めました。

1. 上記にデータを集めて整理する
2. 匿名性を考慮した公開データ作成
3. 誰でも集約・可視化可能な環境作り

特に2のポイントでは、差違印を廃止し、有効などの個人情報はもちろんのこと、性別・所属などの見分けを削ぎ、4桁名性を取得し整理しました。

全体像

Data Source

- SAP 業務システム
- 人事システム
- Y7 業務システム
- 給与システム

Data Mart

- 匿名化処理
- 匿名化ID
- 匿名性を考慮したViewを作成・公開

Tools

- python データ加工メタデータ付与
- +tableau 可視化
- Tableau Studio 集約データ取得

Lecture

- データ分析基礎
- SQL基礎
- ダッシュボード作成

統計基礎〜データの活用〜統計までをサポート

02 効果

公開後3ヶ月で、PD統括本部*の約11%がData Martを、また約30%がBIを活用しています。

実施によって、以下の効果が得られました。

- 11%以上がSQLでデータ抽出
- 30%以上がダッシュボードを運用
- 約40名以上が匿名性にも理解を深め、Machではユーザーがアレンジを共有

サービスやエンジニア層ではない部門ですが、このように少しずつデータの活用を始めています。

Data Mart

Teradata MAU

BI

Tableau View MAU

Case

これは実際のユーザーケースです。性別に匿名化し匿名にしています。

- SQLでデータ抽出
- Tableauで可視化

03 今後の展望

安定したデータ連携と、さらなる活用を目指します。

本日はまだまだ始まったばかり、今後のさらなる活用に向けて、以下の取り組みを進めています。

1. 人事部門を越えたコーポレートデータの活用
2. データの統合・匿名化によるパイプライン作り
3. データ連携と匿名性向上のためのPoC

今後の取り組み

Data Source

1. 収集
- 人事データ
- コーポレートデータ全般

Data Mart

2. パイプライン
- 匿名化
- スクリプト実行

talend

PoC

3. 検証
- 集約・可視化
- データを軸とする人事連携

メンバー募集中。ご興味があれば、是非お気軽にお声がけください。

PDFを用いたブース内での
プレゼンテーションイメージ

YUSAスマートシティ部会



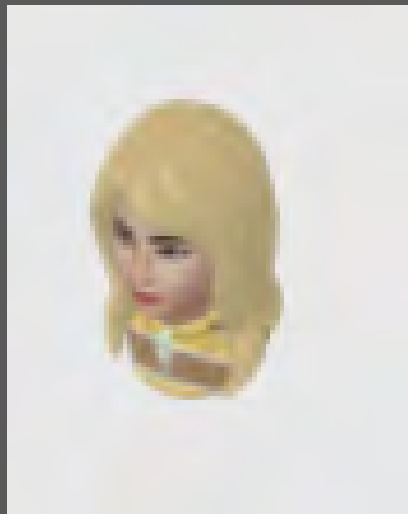
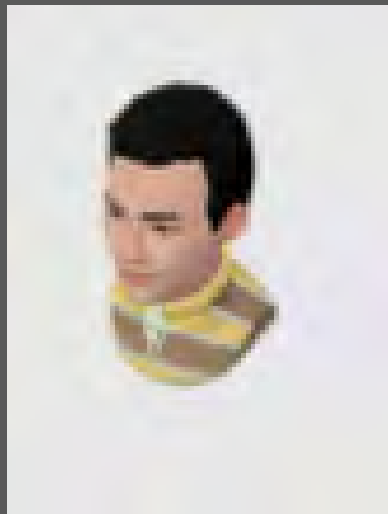
Y-PORT CENTER
GALERIE
横浜国際協力センター6階



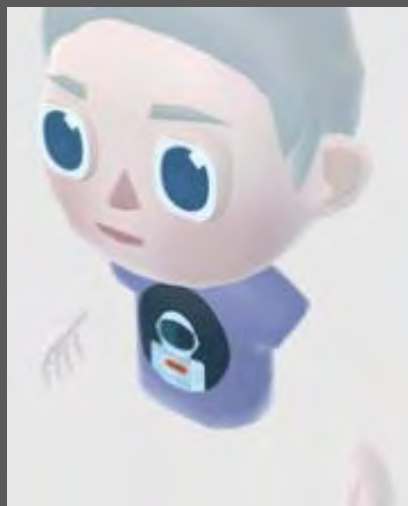
デジタル技術を活用した
海外市場へのプロモーション
について

令和3年8月5日
横浜市国際局国際協力課

1



ポスターセッションスタッフ
アバターを用意



アバターによるコミュニケーション

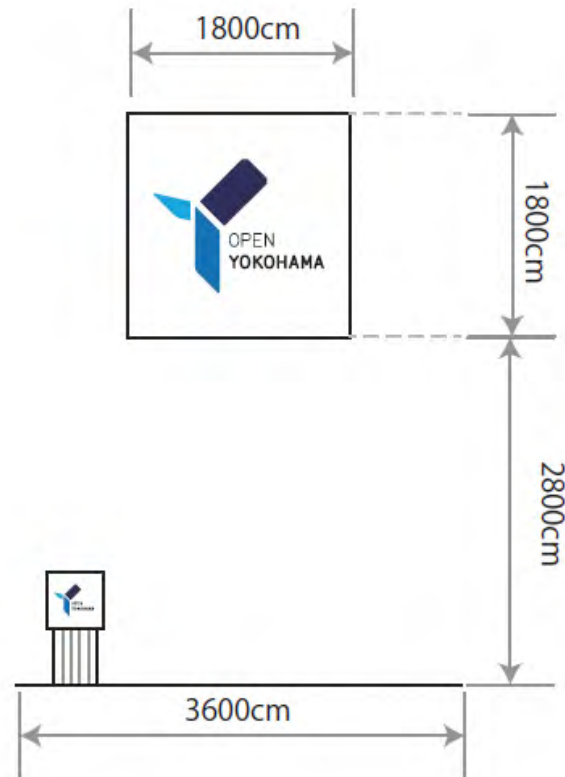
ブースのイメージ

出展ブース

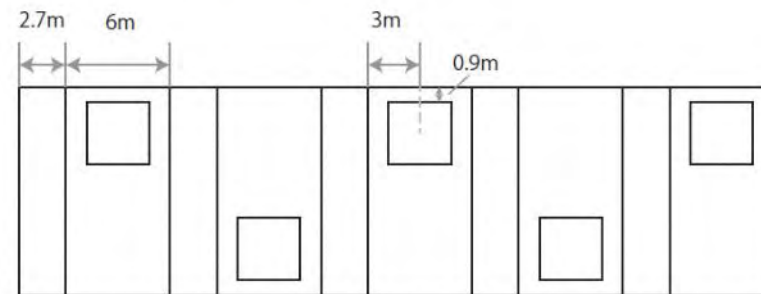
出展ブース(立面図・利用イメージ)



出展ブース(立面図・寸法)



出展ブース(平面図)



ドッグヤードガーデンブース配置

バーチャル展示会プラットフォーム - VIVE Verse

バーチャル展示会の会場となるプラットフォームはHTC社の協力とともに開発を実施。オンライン上におけるリアルタイム且つ効果的なコミュニケーションを通じ、ビジネスマッチングを実現する。

HTCについて

- ✓ 台湾を拠点とするスマートフォン・携帯情報端末メーカー。近年はVRに関する製品開発を積極的に行っており、同社のヘッドマウントディスプレイHTC Proは業界内でも高い注目度を集めている。

VIVE Verseについて

- HTC社が開発しているVRプラットフォーム(オンライン上で双方向のコミュニケーションが取れる仮想空間)。
- 同時に複数のデバイス(参加者)が参加可能であり、特殊なアプリのインストールなしで参加が可能。



バーチャルプラットフォームパートナー
HTC Corporation

台湾のグローバルIT企業
VRヘッドセットマウントディスプレイからバーチャルプラットフォームサービスまでオールインワンで提供可能な企業

コナミとのパートナー協定をはじめ、コンテンツの拡充やエンジニア会社との連携を進めており、今後拡大されていくVR市場をパートナー連携でシェア拡大を目指しているところが特徴

PwC 4

スケジュール

DAY1の企業ウェビナーからDAY2/DAY3のバーチャル展示会への誘導を効果的に行い、3日間を通じてビジネスマッチングを実現する。

DAY1: 企業ウェビナーによるプレゼンテーション

日付	時間	テーマ
2021年 10月26日 (火)	13:00 - 14:00	カーボンニュートラル
	14:15 - 15:15	サーキュラーエコノミー
	15:30 - 16:30	スマートシティ

- ✓ 参加企業は希望するテーマの-slot内にて10分程度のプレゼンテーションを実施。
- ✓ ウェビナー視聴者としては、海外の都市開発関連プレイヤーなどを想定。
- ✓ 視聴者にはDAY2およびDAY3にてコンタクトをとりたい企業の目星をつける機会として位置づけ。

DAY2&3: バーチャル展示会でのコミュニケーション

日付	時間	部屋1	部屋2
10月27日 (水)	13:00 - 14:20	カーボンニュートラル	サーキュラーエコノミー
	14:30 - 15:50	カーボンニュートラル	サーキュラーエコノミー
10月28日 (水)	10:00 - 11:20	カーボンニュートラル	スマートシティ
	11:30 - 12:50	カーボンニュートラル	スマートシティ
	13:30 - 14:50	サーキュラーエコノミー	スマートシティ
	15:00 - 16:20	サーキュラーエコノミー	スマートシティ

- ✓ ウェビナーに参加した視聴者は、ウェビナーを通じて関心を寄せた企業とバーチャルリアリティ環境の中でコミュニケーションをとることが可能。

今後のスケジュール

9月後半に出展企業を決定の上、10月上旬のデータ入稿、10月中旬のリハーサルを経てイベント本番を迎えるスケジュールとしている。

日時	詳細
9月15日(水)	出展企業募集締切
9月22日(水)	出展企業決定・選考結果通知
10月8日(金)	ブース掲出データ入稿
10月中旬	リハーサル
10月26日(火)	企業ウェビナー
10月27日(水)	バーチャル展示会初日
10月28日(木)	バーチャル展示会2日目



その他の出展に関する詳細情報

参加要件については下記の通り。詳細については別資料『第10回アジア・スマートシティ会議企業ウェビナー及びバーチャル展示会に関する募集要項』を参照。

参加要件	<ol style="list-style-type: none">1. プレゼンテーション資料の提出締切を厳守すること2. 与えられた時間内は展示ブースに説明員を配置できること3. 事前に開催されるリハーサルに参加できること <p>原則【①企業ウェビナー】及び【②バーチャル展示会】の両方に参加することが最大限の効果を得るためには望ましい。なお、本イベントへの参加企業数は15社程度を想定。</p>	出展データ	<p>応募締め切り後、事務局から送付される参加決定通知を受けた企業については2021年10月8日(金)までにデータを事務局あてに送付すること。</p> <p>【①企業ウェビナー】 10～15分程度のプレゼンテーションを想定したパワーポイント資料。</p> <p>【②バーチャル展示会】 バーチャル展示会の出展データについてはロゴ(必須)及びプレゼンテーション用資料(PDF/JPG)とし、事務局へ提出をすること。</p>
言語	<p>【①企業ウェビナー】資料及び発表言語は原則英語(通訳者の配置はございません)。</p> <p>【②バーチャル展示会】資料は原則英語とします。通訳者の配置はございません。横浜国際協力センターから参加の場合、ASCC事務局スタッフが可能な範囲で言語面でのサポート可能。</p>	当日までのサポート	<p>準備期間中のサポートについては、連絡先に記載のメールアドレスから事務局がサポート提供をする。準備会当日はGoogle Meets(予定)でサポートセンターを開設し、サポートを提供する。</p>
参加方法	<p>登壇企業は別途発行される企業ウェビナー用・バーチャル展示会用のURLから会場にアクセスをする。アクセス時間については応募様式の回答を踏まえ事務局との協議によって決定する。</p> <p>参加に際しては、原則として横浜国際協力センター(横浜市西区みなとみらい1-1-1)の5F会議室、6F会議室、GALERIOの特設会場に登壇者用コンピューターを持参の上参加とする。ただし事情に応じて、自社からのリモート参加可能とする。</p>	連絡先	<p>アジア・スマートシティ会議事務局:</p> <p>横浜市国際局国際協力課 中村、小室、鈴木 メールアドレス: ki-asca@city.yokohama.jp</p> <p>PwCアドバイザリー合同会社 長谷川、藪内、五月女 メールアドレス: jp_pj_yokohama@pwc.com</p>

ウェブサイトのご案内

<https://yport.city.yokohama.lg.jp/promotion/ascc>



第10回アジアスマートシティ会議

検索



第10回アジア・スマートシティ会議 企業ウェビナー及びバーチャル展示会に関する募集要項

1. アジア・スマートシティ会議について

横浜市および主催団体では、「スマートシティ開発」を、持続可能な都市づくりであると考えています。スマートシティ開発とは、バランスの取れた持続可能な開発を推進し、公民連携によって生み出された様々な革新的技術を活用することにより、市民の生活を向上させるまちづくりです。これまで、国際社会の様々な場面で「スマートシティ」に関する議論が行われてきましたが、こうした議論の積み重ねを経て、今、私たちに求められているのは、具体的なアクションです。

アジア・スマートシティ会議 (Asia Smart City Conference) は、アジア諸都市、政府機関、国際機関、学術機関及び民間企業等の代表者が一堂に会する国際会議であり、アジアにおけるスマートな都市開発に向けた情報のハブ構築を目指しています。この会議では、各都市の代表者から提示される都市課題や成長へのビジョン、民間企業や学術機関による革新的ソリューションの提案、及び公民連携を資金面で支援する国際機関の施策など、世界の様々な知見 (ベストプラクティス) が共有されます。また、参加者が新しいビジネスチャンスを発見できる場を提供しています。

2. 企業ウェビナー・バーチャル展示会について

本年度のアジア・スマートシティ会議では、10月28日(木)のメインイベント(オンライン配信)と並行し、10月25日(火)～10月28日(木)の期間で①企業ウェビナー及び②バーチャル展示会を開催いたします。当該イベントは、本邦企業と海外顧客のビジネスマッチングを主な目的とし、企業によるプレゼンテーション(企業ウェビナー)及び海外顧客とのマッチングセッション(バーチャル展示会)を開催するものです。参加企業については原則として①企業ウェビナー及び②バーチャル展示会の両方にご参加いただくことにより、ビジネスマッチングの効果を最大化していただくことを想定しています。

①企業ウェビナー	②バーチャル展示会
日程:2021年10月28日(火)(予定)	日程:2021年10月27日(水)・28日(木)(予定)
目的:プレゼンテーションによる各社が有するソリューションのプロモーション	目的:企業と海外顧客のビジネスマッチング
開催方式 オンライン会議配信による情報発信	開催方式:バーチャルリアリティ(VR)空間内での双方向コミュニケーション

【②バーチャル展示会】は、ASCCで初めてとなるバーチャルリアリティを用いたデジタル3次元空間で行います。様々な都市ソリューションがポスターセッション形式で提供され、国内外のスピーカー・参加者同士のコミュニケーション・マッチングの場として活用できる場としています。

昨今はコロナ禍により、企業の営業活動において、特に海外顧客との対面形式のコミュニケーションがとりにくい状況となっています。登壇企業にとっては、本展示会に参加することにより、よ

募集要項

(様式1)

応募フォーム

1. 企業情報

企業名【和】	
企業名【英】	
当日の担当者情報【和】 (最大2名)	担当者①【必須】 氏名: 所属: メールアドレス: 電話番号:
	担当者②【任意】 氏名: 所属: メールアドレス: 電話番号:
当日の担当者情報【英】 (最大2名)	担当者①【必須】 氏名: 所属:
	担当者②【任意】 氏名: 所属:
本社住所【和】	
中小企業・大企業の別【和】	
貴社が想定する、横浜市との連携内容(全ての応募者)及び横浜市内企業との連携内容(横浜市内に本社を置いていない応募者は記載が必須)について御記入ください。【和】	

応募フォーム

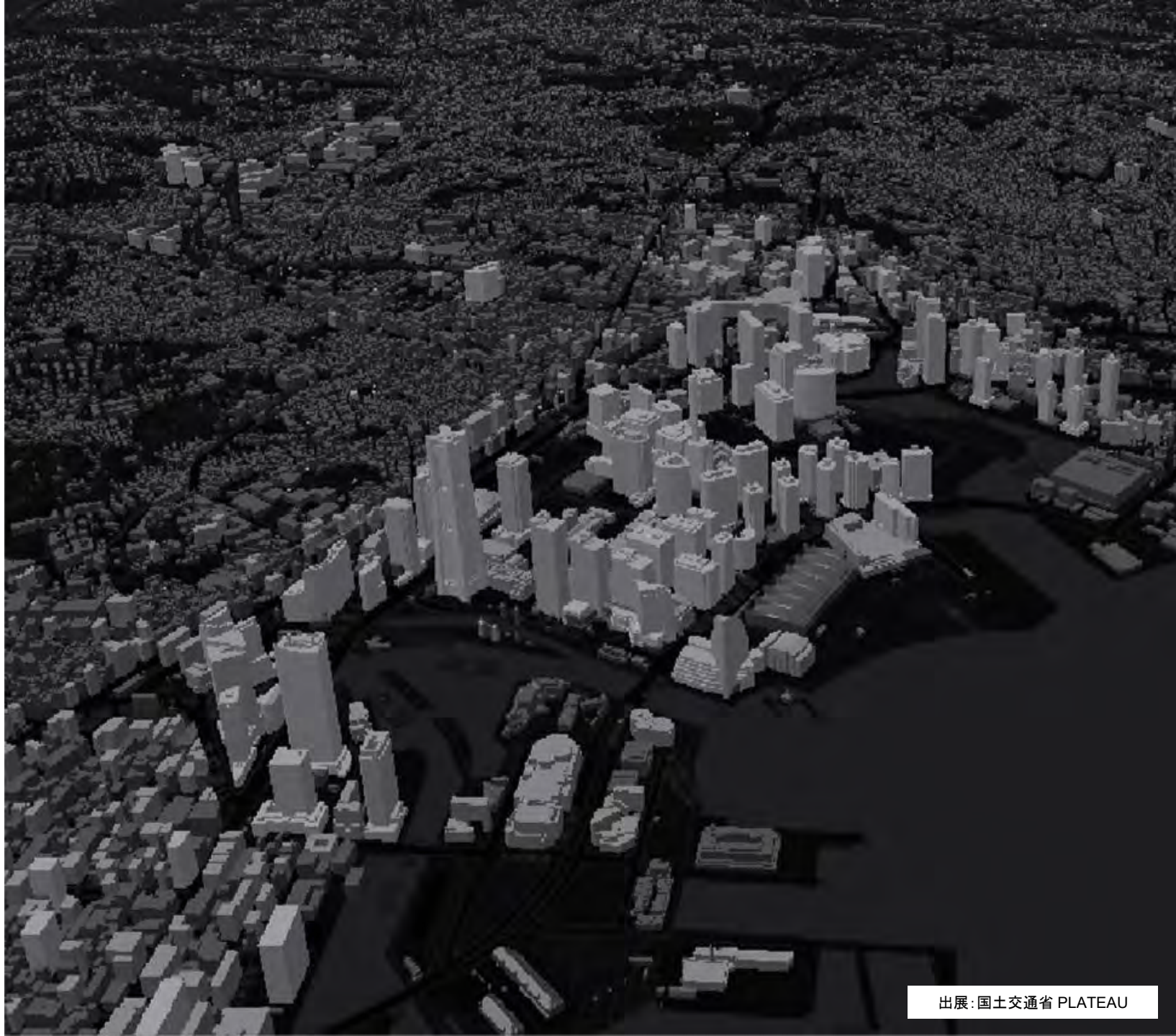


横浜市臨海都心部の 3D都市モデル作成計画 の概要

3D都市モデルを 活用した インフラ輸出 プロモーション促進

海外インフラ輸出を推進するにあたり、
日本で取組まれているインフラ事業の
魅力を伝える必要がある。

みなとみらい地区の3D都市モデルを
活用し、都市スケールでインフラ事業
の成果や意義を伝えるビジュアルイ
ゼーションを作成する。

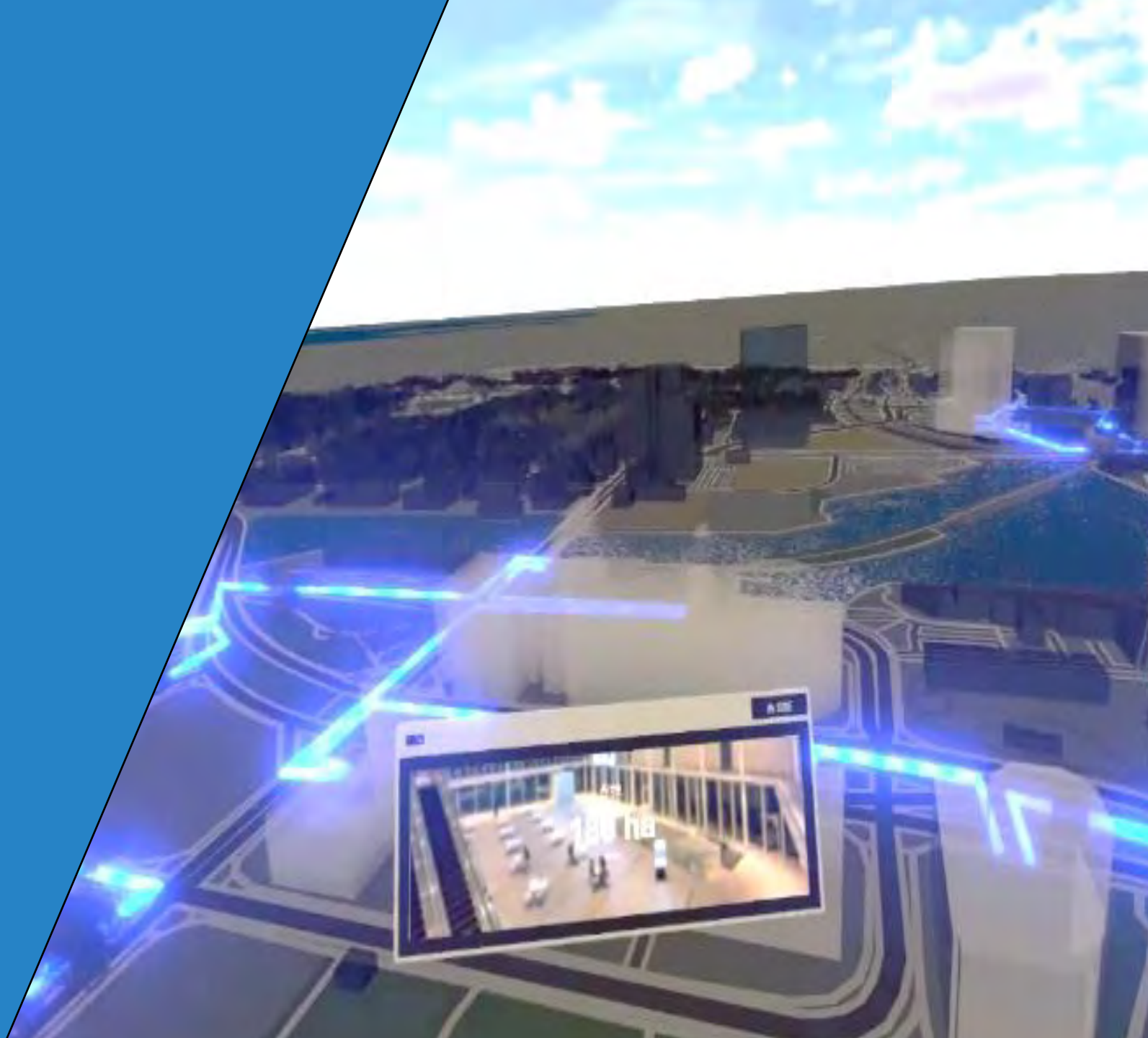


リファレンス

流れの表現

流れに関するビジュアライゼーション

- 人流
- エネルギー
- 交通



リファレンス

場所の表現

- 緑地・公共空間のビジュアライゼーション
- 建物の竣工年をベースとしたアニメーション(竣工年順に建物が生えるイメージ)
- CASBEEなどの性能評価を受けた建物のマッピング

